

介護ベッド用手すりに関する重大製品事故

公表日	事故発生日	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故原因	事故発 生都道府県	備 考
平成19年6月12日	平成19年5月10日	PZR-K900TAH	(株)ラッツ	死亡1名	着衣がベッドの手の固定用ノブに引っかかり、頸部圧迫を起こし、窒息により死亡した。	当該事故は、スイングアームを固定せずに使用した際に、固定ノブが着衣の首部分に引っかかることによって発生したものと推定される。固定ノブの形状は、球状であり引っかかる等による危険性は低いものと考えられるが、事故発生時の被害者の状態及び行動が明らかでないため、原因の特定には至らなかった。	兵庫県	
平成19年11月20日	平成19年10月22日	SE-07NHC	フランスベッド(株)	重傷1名	使用者が当該製品を使用して、立ち上がろうとした際に、当該製品の隙間に腕が挟まり怪我を負った。	事故原因は、当該製品を掴んで立ち上がろうとしたが、踏ん張りがきかず、床へずり落ちてしまい事故に至ったと思われる。製品の性質上、隙間が発生するものであるが、挟み込みのリスクについての十分な周知等が望まれる。	大阪府	
平成19年12月21日	平成19年11月4日	KA-095	ハラムウントベッド(株)	重傷1名	手すりに掴まりベッドから立ち上がろうとした際、固定されていたはずの手すりが動き、転倒し、肋骨にひびが入った。	事故原因は、使用に伴うロックレバー部の摩耗と手すりに掴まることでロックレバーに負荷が掛かっていたことにより、固定されていたロックが解除されてしまい事故に至ったと思われる。	東京都	平成20年2月15日からリコール実施
平成20年1月25日	平成19年12月25日	SE-07	フランスベッド(株)	死亡1名	当該製品の隙間で首を吊った状態で発見され、病院に運ばれたが死亡した。	事故原因は、目撃者がおらず、事故の発生状況が不明であるものの、手すりのサイドレール部が製造時とは逆の方向で取り付けられていたことから、当該隙間が増大しており、事故に至ったと思われる。サイドレール部の逆方向の取り付けによる挟み込みの増大についての十分な周知等が望まれる。	愛知県	
平成20年2月1日	平成20年1月21日	KA-19 及び KA-095	ハラムウントベッド(株)	死亡1名	ベッドの手すりと手すりの間に、ベッドの外側から首が挟まった状態で発見され、病院に運ばれたが死亡した。	ベッドに戻る際に事故が発生したと思われるが、目撃者がおらず、事故の発生状況の詳細が分からず、事故原因の特定には至らなかった。ベッドには複数の手すりを組み合わせて使用するため、製品の形状等により、手すり同士の手すりの隙間は千差万別であり、隙間をなくすることは不可能であり、隙間の挟み込みリスクについての十分な周知等が望まれる。	香川県	